



◆聖ヶ岩

秀峰那須連山のふもとに広がる岩山群。源義経が奥州へ向かう途中に名付けたと伝えられる。山桜、ツツジ、松、紅葉などに彩られ、四季折々に美しい。ロッククライミングのポイントとしても知られている。



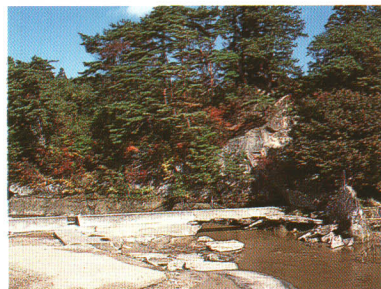
◆聖ヶ岩ふるさとの森

隈戸川沿いの自然を活かして整備されたアウトドアレジャー施設。ケヤキの自然林の中にバンガローが点在し、キャンプ場が広がっている。溪流の美しさが満喫できる遊歩道や野外広場などもある。



◆隈戸川

聖ヶ岩を源とする隈戸川は村の平地を潤し、豊かな収穫をもたらした。緑を映す川面、せせらぎの音…この心やすらぐ風景も、川からの恵みだ。'98年夏の水害を経て、現在は安全な川づくりが進められている。



◆弁天岩

隈戸川の川縁に立つ奇岩。農業用水の安定と水難除けを願い、弁財天が祀られている。その昔、村に水害が起きた際に、崩れた岩が北ノ内地区に通じる水路を塞ぎ、集落を水難から守ってくれたという。



furusatobito

【権太倉山をことのほか愛する軍団】

村の西北部、標高976・3mの権太倉山は美しい稜線を持つ村の聖山。その名の由来は、昔、この山に「権太黒」という名の馬が棲んでいたとも、また、源義家の一軍が山上で休んでいたときに、従者が乗鞍を置き忘れ、この鞍が石に化け「権太鞍」と呼ばれ、現在の名になったとも伝えられます。春には一斉にカタクリの花が咲き、夏にはブナやミズナラの原生林が、秋には紅葉と四季を通じて村人の目を楽しませます。頂上からは村はもとより、那須連峰、安達太良山系まで見渡すことができ、登山者人気も上々です。この権太倉山にあるキャンプ場「聖ヶ岩ふるさとの森」を拠点に、登山者が楽しめるハイキングコースをつくらう…そんな素朴な気持ちに応え、40名の有志が結集、平成6年7月「権太倉山をことのほか愛する軍団」が誕生しました。

「はじめは何もないところからでしたからね。無線機で連絡を取り合って、笹藪の生い茂る道なき道を切り進みながら道を作りました。3班に分けて1日がかりの作業でしたが、約1500mの道がちゃんとつながったときの喜びは今でも忘れることができないよ」と代表の緑川政男さん(福島森林管理署白河支所勤務)にも誇らしい笑顔が輝きます。翌年の山開きでは、福島県知事をメンバーが手分けでコースを案内し、軍団の結束もますます強くなりました。

平成9年7月6日、山の標高976mにちなんで開催された「権太倉フェスタ」は、参加者1千人を越える大盛況。メンバーの山を愛する気持ちが実を結んだ瞬間です。ふるさとの山を愛する軍団の活動は、これからも続きます。

ふるさとの美しい山をもっと
たくさんの人に知ってもらいたいですね。



紅葉も美しい11月の秋晴れ。山道整備に集まった「権太倉山をことのほか愛する軍団」のメンバー。

